

鬼北町立広見中学校

道德通信

道德主任 酒井 智有

NO. 66

令和8年5月14日発行

よりよく生きる

3年生道德授業の紹介「世界のロッカールーム」(読み物資料)

【資料のあらすじ】

ラグビー日本代表だった主人公の廣瀬俊朗さんは、2015年ワールドカップでレギュラーから外れるも、歴史的勝利を精神面で支えた。

2012年に、廣瀬さんは主将を任される。それは、東日本大震災後のチャリティー試合前夜、廣瀬さんがチームでスパイクをきれいに磨き、物を大切にすることやチームへの忠誠心向上につながる姿に、ジョーンズヘッドコーチが感銘を受けたからだ。廣瀬さんは、主将として活動をしながらか、チームがあらゆる面で成長していることを実感している。最終の米国戦に向けた再開の日、廣瀬さんは真っ先にグラウンドに飛び出した。



廣瀬さんは、どんな思いでチームに貢献しているのだろう？(生徒の意見)

- ・みんなの力になれるようなことを、1つでも多くしたい。日本のチームが勝てる手助けをしたい。自分は試合には出られないから、自分の分もみんなにラグビーをしてほしい。少しでも環境がきれいだったら、選手たちが気持ちよくプレイできると思ったから。
- ・メンバーから外れても、自分はチームの一員だから、試合に勝てるように自分ができることは精一杯やるというチームへの強い思いがあった。
- ・落ち込むのではなく、自分ができることを探して、それをやり遂げていくことが、自分にとってのチームの役割だと思った。
- ・試合に出られなくても、人前で嫌な顔を見せなかったり、試合に出るメンバーたちのスパイクを磨いたりすることで、日本を勝利へと導くことができた。
- ・自分がメンバーに選ばれなかったのは悔しかったと思うけど、嫌な顔をしないで次にできることを考えた廣瀬さんはすごいし、チームのためにグラウンドの外でも支えるなど、小さな取組を大切に、チームを引っ張っていた。

「〇〇」の一員として、自分が貢献できることは？(生徒の意見・感想)

- ・家族の一員として…気付いたことは自ら行動する。「行ってきます」「行ってらっしゃい」は何があっても絶対に言う。自分の部屋+自分以外の部屋も掃除をする。
- ・バレー部の一員として…部室が汚れているので、自らすすんで掃除をしたい。他のチームから見て、広中のバレー部はよいチームなんだなと思ってもらえるようなチームになりたいから、挨拶をしっかりしたり、ゴミが落ちていたら自ら拾ったりしたい。
- ・ダンスチームの一員として…ダンサーの人たちと高め合って、お互い刺激し合えるように、毎日一生懸命練習したり、挨拶や向き合う姿勢を大切に、よいダンスチームにしていきたい。